2025 年度（春学期）
Griffith University（オーストラリア）

K.K.（食物栄養科学科・２年次生）

Ⅰ．留学レポート

① 留学を目指した理由

高校生の頃からずっと留学したいという夢がありましたが、コロナの影響で叶わず、心残りでした。大学生になってからその思いが再び強くなり、情報を探している中でこのセメスター語学留学を見つました。私は部活に所属していて、学部内でも留学した人がほとんどいなかったと聞き、不安もあり決断までに時間がかかりました。それでも、両親や友達の後押しや応援が大きな支えとなり、今しかないと思って参加を決意しました。留学を通して、自分の世界を広げたいという気持ちが強くなりました。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学が決まってからは、英語力を高めるために単語帳で語彙を増やし、アプリを使ってスピーキングの練習も行いました。留学の手続きやビザの申請手続きは苦手な書類作成が多く大変でしたが、1 つ 1 つの書類作成を丁寧に行い、自分で文章を考えながら時間をかけて取り組みました。その結果、無事にビザを取得できたときは大きな達成感と喜びを感じました。

③ 現地到着後

空港からホストファミリーの家までは、エージェントが手配してくれたタクシーで約 40 分かけて向かいました。私は学校のオリエンテーションの 2 日前に到着し、それまでホストマザーと一緒に学校の準備をしました。オリエンテーション当日は、ホストマザーと一緒にバスと徒歩で向かいましたが、バスが時間通りに来ず、約 30 分遅れてしまいました。オーストラリアのバスは遅れることが多いので、早めに出発するのがおすすめです。オリエンテーションでは、ベトナム人と韓国人の友達ができ、とても安心しました。初日は緊張しましたが、自分から積極的に話しかけることで友達ができ、先生方も丁寧に手続きを教えてくださったので、不安が少しずつなくなっていきました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

Griffith University 内にある語学学校の GELI は、とても大きくてきれいな建物で、快適に過ごすことができました。周囲には自然が多く、落ち着いた環境の中で勉強に集中できました。先生方は優しくてユーモアのある方ばかりで、わからないことも気軽に質問できる雰囲気でした。この学校で 2 人の大好きな先生に出会い、さらに世界中に友達を作ることができました。GELI での毎日は、忘れられない思い出と出会いにあふれていました。

◆ 授業内容、課題、試験

GELI での授業はスピーキングとライティングを中心に行われ、ペアワークやグループワークが多く、楽しく学べる環境でした。課題はほぼ毎日あり、レベルによって量や難易度が異なりました。特に Dep6 では内容が難しく、早めの準備が必要な課題が多かったです。中でも印象に残っているのはペアで行っ

たプレゼンテーションの課題で、1 週間かけて相手と相談しながら内容を作り上げました。協力して取り組んだので仲も深まり、発表後には大きな達成感を得られました。Dep5 では 5 週間目の最後に 4 技能（リスニング・リーディング・ライティング・スピーキング）のテストがあり、Dep6 では 3 週目と 5 週目にテストが行われました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

GELI では多くのアクティビティが開催され、他クラスの学生と交流したり、オーストラリアの観光名所を訪れたりする機会がたくさんありました。特に印象に残っているのは、有名な滝のある国立公園への遠足と人気の観光地であるバイロンベイへの遠足です。友達とたくさん話すことができ、より仲を深めることができました。一緒にきれいな景色を楽しむこともでき、忘れられない思い出になりました。また、ゴールドコーストマラソンのボランティアにも参加しました。朝 5 時に集合し、オレンジをひたすら切ったり、ゴールしたランナーに水を渡したりと大変な 1 日でしたが、人の役に立つ喜びと達成感を強く感じました。

⑥ 現地での住まいについて

私のホストファミリーの家には、ホストマザーと高校生の娘さんの 2 人がいました。娘さんは学校で忙しく、あまり話す機会はありませんでしたが、ホストマザーはとても優しくておしゃべりで、料理が上手な方でした。毎日おいしい手料理を作ってくれて、特にステーキやパスタ、キッシュなどの夕食はどれも本当においしかったです。私が日本食を作って一緒に食べたこともたくさんあり、とても良い思い出になりました。また、毎日のようにホストマザーとたくさん会話をし、時には 3 時間ずっと話しているときもありました。これは、スピーキング力の向上に大きくつながったと思います。通学はバスと徒歩で片道およそ 1 時間かかりましたが、道の景色を楽しみながら通うことができました。

⑦ 長期休暇の過ごし方

長期休暇はありませんでしたが、オリエンテーションが終わったあと祝日が続いたため、数日間の連続した休暇がありました。そのときは、ホストマザーとお隣のおじちゃんがいろいろなところに連れて行ってくれました。

Ⅱ．留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

特に印象に残っている留学中の思い出は、韓国人の友達とニュージーランドに行ったこと、ホストマザーとたくさん会話をし、冗談を言い合ったり、好きなものを共有したりして、たくさん笑いあったこと、世界中に友達を作ることができ、また会う約束ができたこと、大好きな先生に出会えたこと、たくさんの人に笑顔を褒めてもらえて自分に自信が持てたことです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

初めは、クラスの年齢層や雰囲気が自分の想像していたものと違ったり、環境の違いにすぐに慣れる

ことができなかったりして、日本の友達や家族が恋しくなって 1 週間ほど泣きながら登下校していました。しかし、登校中に目の前に現れた 2 重の大きな虹や友達、家族の応援のおかげで気持ちを切り替え、自分から積極的にたくさんの人に話しかけることができるようになりました。

③　文化・習慣の違いなどで驚いたこと

バスが時間通りに来なくて、15 分ほど遅れたり、早く着いたバスが時間を待たずに出発したりしてしまうこと、通りすがりの人に「Good morning」や「Hello」などと言われたり、さまざまなところで話しかけられること、みんなのびのび、ゆったりしていて自分も「まぁいっか」という気持ちになれることです。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

①　日本から持っていって、特に役に立ったもの

日本のお菓子(特にベビースター、抹茶のキットカット、地元の名産お菓子、じゃがりこ、グミ)、ホットアイマスク(ホストマザーに大好評でした)、桜のお土産、ジブリキャラクターのお土産、日本の袋ラーメン(日本食が恋しくなったときに食べることもでき、友達やホストファミリーにも大人気でした)、ハンディファンです。学校はパソコンでテキストを読み、課題も試験もパソコンでやるため、パソコンは必須でした。

②　語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

ホストマザーにスピーキング力の向上を何度も褒めてもらえました。初めは、緊張して英語があまり話せず聞いてばかりでしたが、後半は冗談を言って笑いあったり、お互いの考えを言い合ったりすることができるようになり、ホストマザーとの会話をとても楽しむことができました。また、ライティングについても、学校で何度も何度も書き方や構成を勉強して練習したので、エッセイを英語でスラスラ書けるようになりました。TOEIC についても、160 点伸ばすことができ、700 点台に到達できたので、目標の 800 点が近くなってきて嬉しかったです。

③　これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

どんなときも笑顔でいることの大切さを強く感じました。私は常に笑顔を心がけ、素直な気持ちで人と接するようにしていました。その結果、先生や友達から「いつも明るいね」「あなたの笑顔を見ると元気になる」と言ってもらえることが多く、自信を持つきっかけになりました。自分の笑顔で誰かの気持ちを明るくできると知ったことは、普段なかなか自信を持てない私にとって、とても大きな出来事でした。また、日本人同士で固まらないようにすることも語学力の向上に大切です。韓国人と日本人は同じ国籍同士で固まっている人が多かったです。そのため、私はいろんな国籍の人に自分から積極的に話しかけて、英語で話すことのできる環境を自分から作っていました。日本人の友達もたくさんできましたが、世界中に友達を作ることができ、放課後や休日に遊んだり、旅行を一緒にしたりできました。

Ⅳ．将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

今後は TOEIC800 点を目指して英語の勉強を続けていきたいと考えています。私は小さいころからパティシエになることが夢で、オーストラリアを留学先に選んだ理由の一つは、将来に役立つ栄養学の知識を学びたいと思ったからです。今回の留学で得た経験や考え方を活かして、病気やアレルギーが原因で好きなお菓子を自由に選べない人にも安心して楽しめるスイーツを届けられるパティシエを目指しています。さらにスピーキング力を高め、世界中の人と意見や考えが共有できるようになるよう努力していきたいです。

Ⅴ．写真



これは、韓国人の友達とニュージーランドに行ったときに撮った写真です。留学に行って、一緒に海外旅行ができる外国人の友達ができるなんて想像していなかったので、とても嬉しかったです。ハプニングも多かったですが、ニュージーランドの優しい人たちに助けられながら、一生の思い出を作ることができました。

2025 年度（春学期）
Griffith University（オーストラリア）

K.I.（英語英文学科・２年次生）

Ⅰ．留学レポート

① 留学を目指した理由

私は海外に対して少し怖いという気持ちを抱いていたというのもあり、大学に入るまで留学したいと思ったことはありませんでした。中学生のころから英語がずっと好きだったので英語英文学科に進学し、英語の授業を受け、同じく英語を好きで学んでいる友人と過ごしているうちに、少しずつ留学することを考え始めました。周りの友人に留学をしたい人が多くいて、その環境が留学を考える大きなきっかけになったと思います。また大学生になり将来を考える中で、英語が好きで英語を活かした職業をしたい、英語をもっと話したいと思い、ずっと憧れであった客室乗務員を本格的に目指し始めたのも留学を考えるようになったきっかけでした。

② 留学決定から出発までの準備期間

留学前は主に単語の勉強をしました。また洋楽を聞いて意識的に英語に触れるようにしました。留学が決まってから直前まで本当に実感がなくて、本当に行けるのか心配でした。ビザの申請のために行く目的などを英語で書いて提出した時は、ちゃんと申請が通るのか不安でした。直前になるにつれて少しずつ本当に行くのだという実感が湧いてきて、スーツケースに荷物を詰めているときにはとてもワクワクしていました。国際線の空港に行くのが初めてで緊張しましたが、自分の将来の夢である客室乗務員の方たちを見て、頑張ろうという気持ちになっていたのを覚えています。

③ 現地到着後

現地到着後はタクシーでお迎えがあることになっていましたが、その運転手さんとなかなか会うことができず空港をさまよっていると、現地の方が声をかけてくださって一緒に探してくれました。そのおかげで無事運転手さんと合流でき、ホームステイ先に到着しました。はじめはホストマザーの話していることを理解できず、コミュニケーションをとることが難しかったです。何とか自己紹介をし、荷解きをしました。ホストマザーが家についてすぐにサンドウィッチを出してくれて、それがゴールドコーストでの初めての食事だったのをよく覚えています。オリエンテーションで初めて学校に行くときはとても緊張しました。ホストマザーが学校までの行き方やバス停の位置を教えてくれて、また、日本人のルームメイトも同じ日にオリエンテーションだったので二人で行きました。

④ 語学研修機関

◆ 施設・環境・スタッフ

語学学校はきれいで過ごしやすかったです。大学に併設されていたので、たまに大学内のカフェや飲食店に行っていました。大学はとても広くて自然が豊かで、授業の休み時間に散歩するのはリラックスできて好きでした。クラスは日本人、韓国人、中国人などアジア系の方たちが多い印象でした。みんな積極的に発言するのが日本と違うなと感じましたが、その雰囲気のおかげで自分も発言できることが多かったです。授業内のアクティビティのおかげでたくさん友人ができました。

◆　授業内容、課題、試験

授業では地球環境問題が主に取り扱われました。汚染問題や温暖化などについて議論したりそれに関する単語を学んだりしました。日本語でも議論するのが難しい話題なので、はじめは意見を出すのが本当に難しかったですが、最後には自分から意見を言うことができました。課題は基本的に毎日あり、授業の後に友人と残ったりカフェや図書館に行ったりしました。5 週間に一回大きなテストがあり、その結果によって次のセメスターのクラスが決まったので、成績が渡されるときには毎回緊張しました。

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

GERI では毎週アクティビティがあり、例えばキャンドル作りやオーストラリアのお菓子パーティー、ブレスレット作り、BBQ がありました。また GERI のみんなでカンガルーとコアラを見に行ったり、展望台に行ったりしました。そこで日本人だけでなく海外の友人も多くできたと思います。またグリフィス大学の日本語クラブに参加し、グリフィス大学に通っている日本の方や、日本が好きな海外の方と交流しました。そこでお互いの文化を共有できたのは興味深かったです。

⑥ 現地での住まいについて

ホームステイ先はウクライナ出身のマザーの一人暮らしの家でした。たまに息子さんが来て 3 人で食事をすることもありました。私のマザーは洗濯や洗い物など全部してくださってとても助かりました。シャワーの時間は特に言われませんでしたが、夜 10 時までにはお風呂に入り、休日でもなるべく早寝早起きを心がけることが約束事でした。シャワールームは 2 つあったので、マザーと私は違うシャワールームを使用していました。食事は毎回マザーが作ってくれ、私は朝食と夕食のプランだったのですが、たまに学校に昼食も持たせてくれました。ホームステイ先から学校までは、バス 1 本か、バスが遅れている時にはトラムという電車とバスを使って通っていました。どちらの行き方も約 50 分でした。

Ⅱ．留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中に最も思い出に残っていることは、韓国人の友達と日本人の友達の約 10 人で韓国料理屋に行って、韓国人の友達に本場の韓国料理の楽しみ方を教えてもらったり、その後みんなでカラオケに行って日本の歌や韓国の歌をみんなで歌って大はしゃぎしたりしたことです。第一言語が違っても英語という言語でコミュニケーションを取ってこんなにも楽しめるということに感動しました。またそのメンバーでムービーワールドという遊園地に行ったこともいい思い出です。ジェットコースターに何度も乗りました。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中で辛かったこと、苦労したことは留学初期の学校の授業です。まだ環境に慣れていない中で自分の第一言語ではない英語で全ての授業を受け、耳も慣れていなくて先生の言っていることが聞き取れませんでした。また自分の意見を言う場面では言葉が出てこず、周りのみんなは答えられているのに自分

だけできないと感じ辛かったです。またそんな時に日本の家族や友人に会えないのもつらかったです。はじめは聞こえる英語を頭の中で日本語に翻訳しながら理解しようとしていましたが、聞こえた英語をそのまま頭の中でリピートするやり方に変えてから聞き取れるようになり、それからは英語を聞くのが楽しくなっていきました。

③　文化・習慣の違いなどで驚いたこと

日本の授業では先生が授業で質問をしても手を挙げる人がいなかったり発言が少なかったりしますが、オーストラリアではみんながたくさん質問、発言をしていてはじめは驚きました。また、私のステイ先ではなかったですが、友人がシャワーの時間は 3 分以内といわれたと聞き、これにも初めは驚きました。食事の時にはいつも必ずバーベキューソースとケチャップが置かれていて、日本食とは全然違うと感じました。

Ⅲ．留学希望者へのアドバイス

①　日本から持っていって、特に役に立ったもの

授業がすべてパソコンで行われたのでパソコンは必須でした。教科書などもなくすべてパソコンでの授業だったので荷物が少なくて楽でしたが、充電をし忘れたときは大変でした。日本から持って行って役立ったものは目薬です。花粉かハウスダストか分かりませんが目がずっとかゆくて、目が腫れたことも一度ありました。その時には目薬はとても役にたったし、日本のものを持っていると安心でした。乾燥がひどかったのでリップクリームなども役立ちましたが、ダイソーがあったので薬以外の大抵のものはダイソーでそろえることができました。

②　語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

英語英文学科なので同志社女子大学での授業でもネイティブの教授の授業を多く受けますが、留学前と比べるとリスニング力が成長し、理解速度が圧倒的に変わりました。すぐに理解できるので授業への関心が深まり、以前より楽しく授業を受けることができるようになりました。留学に行く前は極度の人見知りだったのですが、留学先では常に新しい人と交流するので人見知りが改善されたと感じます。また留学中は授業内でみんなの前で意見を言ったり発言したりする機会が多く、留学後の大学の授業でもそれを活かせたと感じた場面がありました。

③　これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

はじめは慣れず英語も聞き取れず、でも周りの人は普通に話して理解できていると感じて本当に焦ると思いますが、だんだん慣れてきます。もし日本語に訳してから英語を理解しようとする人がいたら、聞こえた英語をそのまま頭の中でリピートしてみてください。そうすると英語のまま理解できるようになり理解できるスピードが変わると思います。留学に行く前はたくさんいろいろなところに行こうと張り切っていましたが、私はあまりたくさんのところへ行けなかったのが少し心残りなので、後悔のないように計画を立てるとよいと思います！

Ⅳ．将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

今回のセメスター語学留学の経験を活かし、今後はより英語の勉強に力を入れ、以前からの夢である客室乗務員になるために日々努力をしたいと思います。まずそのために大学卒業時までに TOEIC800 点という目標を達成し、自信をつけたいです。留学前に比べると人前で英語を話すのに慣れ、自信もついたと思いますが、まだまだなので毎日英語に触れ成長していきたいです。語学学校でできた韓国人の友人と日本か韓国で会おうという約束をしたので、会う時までに英語を成長させて友人を驚かせたいです。

Ⅴ．写真



この写真は私がオーストラリアで撮った海の写真の中で一番好きな写真です。オーストラリアの海は本当にきれいで時間帯によって見え方が変わるので常に写真を撮っていました。学校が終わってからや休日に友人とよく海に行き、おしゃべりしたり空気に浸ったりしました。空もとてもきれいで毎日夕暮れが楽しみでした。